

岩波ホール発

アンコール公演 第四弾

白石加代子「百物語」

構成・演出 | 鴨下信一

出演 | 白石加代子

宮部みゆき「小袖の手」

朱川湊人「栞の恋」



Designed by charhan ranone

2023

1.12 (木)

6:30pm開演 (6:00pm開場)

チケット料金 / 全席指定 6,000円(税込)

兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

まだ間に合います。これからが「百物語」最終便!!

12/13
再販開始

ご予約・
お問合せ

芸術文化センターチケットオフィス **0798-68-0255**

10:00am-5:00pm 月曜休み ※祝日の場合翌日

チケット
取り扱い

●芸術文化センター 0798-68-0255 <https://www.gcenter-hyogo.jp>

●芸術文化センター2階総合カウンター (9/13(火)より、残席がある場合のみ)

●チケットぴあ <https://pia.jp/t/> ●ローソンチケット <https://l-tike.com> ●イープラス <https://eplus.jp>

※プレイガイドでのお取り扱いについては、各プレイガイドにお問い合わせください。

※未就学児童はご入場いただけません。 ※やむを得ない事情により、出演者等が変更となる場合がございます。予めご了承ください。

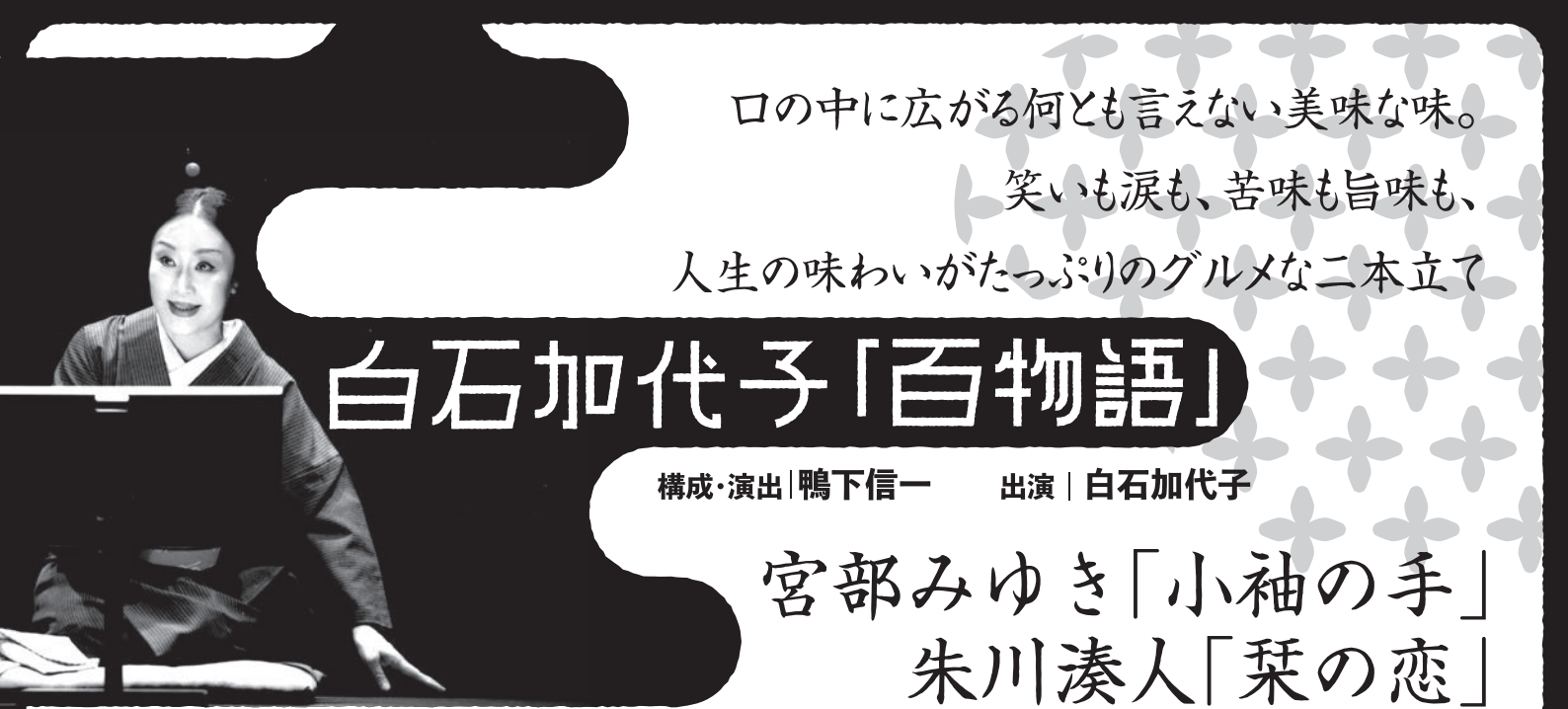


兵庫県立
芸術文化センター

※本公演は2022/11/30(水)公演の振替公演です。
11/30公演チケットもそのままご使用いただけます。

主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

企画・製作 メジャーリーグ



口の中に広がる何とも言えない、美味な味。

笑いも涙も、苦味も旨味も、

人生の味わいがたっぷりのグルメな二本立て

白石加代子「百物語」

構成・演出 | 鴨下信一

出演 | 白石加代子

宮部みゆき「小袖の手」 朱川湊人「栞の恋」

——妖しく、愛しい袖

このシリーズで取り上げていただいた拙作「小袖の手」は、私がまだ作家として駆け出しのころの作品です。初演の際、客席であやうく涙しそうになりました。それほど嬉しかったし、深く感動しました。

数百人の観客を前に、舞台上で語る白石さんは、たった一人です。でも本当は、白石さんの後ろに大勢の語り部たちがいる。遙か古の時代から、堂々と怪談を語り継いできた人びとの魂がついているのです。そのなかには、江戸の闇、江戸の怪異を語っていた人びとの魂もありました。私が作品のネタにした着物の袖よりも、舞台の上の白石さんの着物の袖の方が、はるかに豊饒で神秘的な幻想と怪異を隠していました。語りながら白石さんが袖をひるがえすと、その断片がひらり、はらりとこぼれ落ちるのが見えました。

私が江戸怪談に魅入られ、憑かれたように書き続けるようになった理由を、察していただけるでしょう。駆け出しの身で、こんな贅沢で劇的な体験をしてしまった以上、もう逃げられません。

というわけで、白石さんには責任をとっていただきたく——私は今日も、「また舞台上で読んでもらえるといいな」と思いつつ、江戸怪談を書くのです」

宮部みゆき

(白石加代子「百物語」シリーズ第二十九夜
「お文の影」「ばんば憑き」パンフレット原稿より転載)

——ミラーボールのような百面体の心

私にとって白石加代子さんは、長い間、「怖い人」であった。

その演技に初めて接したのは金田一耕助シリーズの映画だったが、当時は中高生だったので、「何だか映ってるだけで、迫力がある人だなあ」くらいの認識しか持っていなかった。しかし、その後にビデオで『女囚と第41難居房』を見て、そう感じたのは気の迷いでなかったと強く実感した。その劇中の白石さんは、まさに迫力の塊であったからだ。本当に何かが憑りついているとしか思えない演技で、「役が憑依してしまう役者さんがいると言うけど、ちょっと過ぎ過ぎなのでは」と、こちらが心配になってしまふくらいだ。

以来、白石さんを“怖い人”と思い続けてきたのであるが、言うまでもなく、それは大きな間違いである。何のことはない、単に私が演劇に疎く、舞台の上の白石さんを見る機会を持てなかっただけのことだ。

拙作の「栞の恋」を百物語の演目を選んでいただき、その舞台を拝見した際に私はそれを思い知り、己の考えの浅さを恥ずかしく思った。その時に感じた通りに言えば、白石さんの舞台は、“ちょっとばかり何かに憑かれたくらいで、できるものではない”ということだ。もしかすると白石さんの中に何十通りもの白石さんがいるか、あるいはミラーボールのような百面体の心を持っているのかもしれない——そう考えることで私は自分を納得させたが、その時から白石さんは、もう“怖い人”ではなくなってしまった。

是非みなさんにも、おちやめめで可愛くて、黒目がちでござが似合う白石さんをご覧ください。

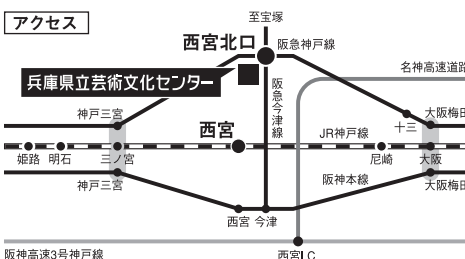
朱川湊人

《公演ホームページ》 <https://ml-geki.com/hyakumonogatari2022/>

※最新情報は公演ホームページにてご確認ください。



照明 | 阿部康子 音響 | 清水麻理子 衣裳 | 池田洋子・江幡洋子 結髪 | 笹部純・柴崎尚子 演出助手 | 平井由紀 舞台監督 | 矢島健 宣伝美術 | チャーハン・ラモーン
広報 | 横島多美枝 制作 | 児玉ひろみ 協力 | 一般社団法人舞台芸術共同企画 hairmake Pure 株式会社スタジオオーディション
プロデューサー | 笹部博司 企画・製作 | 株式会社メジャーリーグ



※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

《チケットご購入のお客様へお願い》新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いします。

※芸術文化センターでのご購入時には、来場者情報把握のため、先行予約会員(無料)へのご登録をお願いしております。なお、お一人様2枚までとさせていただきます。

※入場者数を制限して販売する場合があります。

※プレイガイドでの販売はインターネットのみとさせていただきます。
取扱いについては各プレイガイドにお問合せください。

※37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。

※マスクを着用されない方はご入場いただけません。(マウスシールド不可)

※感染の再拡大等により、公演の中止や、出演者、公演内容、座席配置等が変更となる場合がございます。

ご来場前にウェブサイト掲載の「当センターをご利用のお客様へ」をご確認ください



助成：
文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan

文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会